

ほけんだより



1年の流れは早いもので、あっという間に春が過ぎ『梅雨』の季節となりました。色とりどりの紫陽花が雨に濡れてキラキラしています。紫陽花に負けじと傘の花もあちこち。子ども達の小さな花は、雨でも元気いっぱい。いつでも楽しそうです。「梅雨」と書く漢字の由来には諸説ありますが、もともと中国で梅の実が熟す時期に降る雨のことを梅雨(ばいう)と呼んでいて、それが日本に伝わったとも言われています。また「つゆ」と読むようになったのは、雨から連想される「露(つゆ)」の読み方を「梅雨」にあてるようになったからとも言われています。

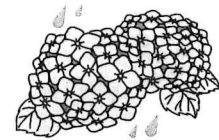
梅雨空が続きますが、この季節にしか味わえない風景などを楽しんで過ごしましょう。



感染症情報

溶連菌感染症

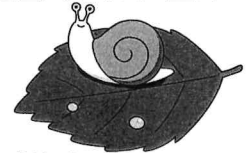
6名



※先月から引き続き、溶連菌感染症の発生が続いています。溶連菌感染症は、A群溶血性連鎖球菌という細菌に感染する事で、発熱・のどの痛み・発疹等が現れる病気です。発熱を伴わないまたは、微熱程度という場合もあります。罹患時は、抗生剤の服用による治療を行い、症状消失から24時間以上経過後より登園が可能となります。治癒後初回の登園時には、医師の意見書の提出をお願いします。

水痘(水ぼうそう)

1名



※都内でも水痘(水ぼうそう)の報告が増えています。麻疹(はしか)ほどの感染力はありませんが水痘も空気感染をする為、同じ空間にいただけでうつる可能性があります。潜伏期間は2週間程度と長く、頭や顔からかゆみの強い発疹が出始め、身体、手足へと広がります。2回の予防接種を受けていても、10~20%は罹患すると言われています。特に、接種から時間が経過している幼児クラス~小学生での発症が目立っています。まだ2回の接種が済んでいない場合は、早目に受けるようにしましょう。

◎この時期は、子どもの転落事故が1年の間で最も多くなっています。窓際やベランダに足場となるような物を置かないよう注意しましょう。

◎子どもたちは新陳代謝がさかんで、活発に動き回るので汗をよくかきます。加えてこの時期は蒸し暑いのでより汗をかきやすくなります。肌を清潔に保つ為にも、吸湿性や通気性の良い材質の肌着の用意をお願いします。

◎6月4日~10日は『歯と口の健康週間』です。歯を磨く事や、甘い物を食べすぎない事など毎日の食生活にも気をつけましょう。親子揃って丈夫で健康な歯を育て、維持しましょうね。

◎6月20日(金)10時~みどり組に赤羽健康支援センターの歯科衛生士さんが、虫歯の話や歯の磨き方についてお話をしに来てくれます。詳細は、後日みどり組にお知らせします。



令和7年6月1日



日の基保育園